



《でんでんむしの生みの親》(令和3年冬季号)

中野孝之助通信

◎市政の課題を掘り起こし、解決に全力を尽くします!!

ご挨拶

盛岡市議会議員の中野孝之助でございます。

皆様には、令和3年の新春を迎えられ、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症は、昨年暮れにかけて、盛岡市でもクラスターが発生し、私たちの日常生活に大きな影を落としております。新型コロナウイルス感染症拡大が、一刻も早く収束し、少しでも落ち着いた日常が戻ってくることを祈っております。

盛岡市議会では、市当局から提案のあった新型コロナウイルス感染症関連の予算議案については、審議の上速やかに可決成立させ、市民の皆様の暮らしが滞ることの無いように、事業継続が可能となるように、全力を尽くしております。

ワクチンについては、諸外国ではすでに薬の認可もされ、この通信が皆様のお手元に届くころには、ワクチンの一定の効果や副反応についてもだいたいが明らかになってきているものと、期待するものであります。

日本においても、間もなくワクチンの接種が始まることになると思います。その先には、開催が1年延期になりました東京オリンピックの開催が待っています。

どうか今年が新型コロナウイルスを克服した、人類にとって記念すべき希望の年となりますよう祈念しております。

私も、活力のあり続ける盛岡市の発展の為に、持てる力を発揮してまいり所存でございます。今後とも皆様には引き続き変わらぬご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和2年9月 市議会一般質問

質問項目

- ① コロナ禍による市内の病院及び薬局の経営不振対策について
- ② 企業誘致政策について

① コロナ禍による市内の病院及び薬局の経営不振対策について

Q 市として、病院、薬局の経営実態を、どのように分析しているのか。

A 個々の病院、診療所、薬局の状況分析は行っていません。ただ、岩手医大をはじめとする大規模27病院については、外来と入院それぞれの患者数の2月と7月の比較は把握しています。外来患者数が9.5%、入院患者数が4.6%の減少となっております。薬局の処方箋数についても同様の傾向にあると推察しています。

Q データを示していただいたが、実際にお医者さんや医師会、薬剤師会との懇談や情報提供をいただくなどできないのか。

A これまで、そういう場は特に設けてはいませんが、今後は医師会、薬剤師会等の関係機関からの情報収集も図ってまいりたいと存じます。

Q 現在の枠組みの中で、実際にどういう支援ができるのか。

A 医療機関や医療従事者に対しては、慰労金給付事業、感染拡大防止に要する費用、経費については、医療機関、薬局等感染拡大防止対策支援事業をすでに実施しております。また受診控えによる経営悪化医療機関への支援も国において検討中であり、今後も関係機関等から情報収集を行い適時必要な要望を国に対して行ってまいります。

Q コロナ後において、医療機関、薬局などの市民に必要な施設が、閉鎖してしまうような状況が危惧される。特に地方都市盛岡においては、一度失われたものを再度立ち上げるには並大抵のことではないと考える。政府の対応を待たずに市として何が可能なのか、今できること、今やらなければならないことは何か。

A コロナ後において、社会が立ちいかなくなるというのでは、元も子もありません。今やるべき、また今後やるべき対策等についても、医師会や薬剤師会等関係機関に丁寧に聞き取りを行ってまいります。

② 企業誘致政策について

Q 最近、盛岡市に進出をしたいという企業が、増えていると伺っている。ところが、市の相談窓口で進出を断られるケースが多いと伺っている。進出希望の状況はどうなっているのか。

A 令和元年度以降、相談件数が20件ほどあります。業種は製造業、情報サービス業のほか、貨物運送業、倉庫業などの物流系の企業からのお問い合わせが多い状況です。

Q 道明地区を新工業団地として現在整備しているが、手を挙げた企業は全部入れるのか。

A 道明地区に整備中の新産業等用地については、製造業、あるいは研究開発型企業の集積を目指して現在整備を進めています。問い合わせがあった物流系の企業5社ほどについては、対象業種外ということでお断りしている状況です。

Q コロナの時代を迎え、国内への産業回帰、また経済安
保という観点からも、今、盛岡に進出したい企業を断
らないで、せっかくのチャンスを逃さないことが必要
ではないか。

A ご指摘の通りだと思います。コロナ禍において、中央
から地方への流れの受け皿を整備していく必要がある
と思います。道明地区の新産業等用地についても、社
会経済情勢を見ながら、受け入れなどを検討しなけれ
ばと考えております。

Q 進出を希望する企業に対し、ただ断るのではなく、今
後企業とつながるように、市としての政策を鮮明に打
ち出していくことが必要ではないか。

A 雇用の拡大という部分も含めて、ぜひ多くの企業に盛
岡に来ていただきたい。土地利用の考え方をきっちり
整理しながら、今後に備えていかなければならないと
思っております。

活動報告

ICT活用特別委員会 2020.07.15

盛岡市議会ICT活用特別委員会のオン
ラインミーティングを、開催しました。

市議会議員がこの時期に、新しい議
会、委員会の開催の在り方について、
実際にオンライン会議を体験し、勉強
するものです。

コロナ禍のまたその後の新たな社会生活をみこし、課題や可能性を
整理してまいります。



盛岡市総合防災訓練 2020.08.29

市の総合防災訓練が開催されました。
会場は乙部中学校です。

体育館内では、避難所のパーティショ
ン設置訓練、段ボールベッド設置訓練
など、校庭では、ドローンによる物資
輸送訓練、土のう積み訓練など災害時
に必要な各種訓練が行われました。

やはり、平時の準備、備えが大切です。関係機関、参加団体、そし
て乙部中学校の生徒の皆さん、暑い中大変お疲れさまでした。



中津川の稚鮎放流増量要望 2020.10.03

谷藤盛岡市長へ中津川の稚鮎放流増
量の要望書を提出しました。かねてから、
市議会の一般質問で取り上げてきたもの
です。中津川に、往年の活気を取り戻す
方策の一つです。

盛岡の街のど真ん中を流れる中津川
は、かつて夏には鮎釣師で賑わっていた
ことを、記憶されている方も多いと思
います。

まずは稚鮎の放流量を増やし、鮎が釣
れる川にすることです。そして、誰もが
川に近づきやすい環境整備を進めるこ
とが大切です。

盛岡市民の宝であるこの中津川を、皆がより楽しめるように、皆で
方策を考えながら進めていきたいと思います。



盛岡西消防署厨川出張所新築 2020.10.23

消防署厨川出張所の新築落成式典に、
総務常任委員長として出席しました。

立派で機能的な新庁舎です。旧庁舎は
昭和55年建設で、40年間この地区の安
全を守ってくれました。

新庁舎の事務室は明るく、署員の皆さ



んには、働きやすい環境です。もちろんエアコン完備、トイレも快適
です。

いつも言うことですが、過酷な現場を持つ職場の環境は、快適であ
りたいものです。

消防関係者のこの日の笑顔が、嬉しく、また頼もしく感じました。

盛岡市議会盛友会勉強会 2020.10.28

毎年恒例の、農協さんとの勉強会を開
催しました。

盛岡市は、南部が岩手中央農協、北部
は新岩手農協と、二つの農協の管轄に
なっています。

今年は、コロナの影響で野菜の出荷量
がやはり落ちていることや、米価が下がること、後継者が不足してい
ることなど、農業を取り巻く環境は、依然厳しいとお話がありました。

普段知らない農業の課題や将来性について、教えていただいた勉強
会でした。



ヘルステック イノベーション ハブ内覧会 2020.11.07

岩手県工業技術センターの敷地内に、
岩手県のヘルステック事業を牽引する
施設が整備され、見学イベントが開催さ
れました。

オープニングは「アフターコロナ！新
時代のための地域産業戦略」と題して、
気鋭の社長さんたちが、それぞれの事業分野について、将来像を語り
合いました。

理化学研究所の小野寺理事も駆けつけ、共創の必要性について講演
をされました。

日本を代表する研究機関と、岩手の企業やこの施設が、共に技術開
発や研究でつながっていることに、驚きを感じました。と同時に、頼
もしくも思いました。

地元企業のますますの発展に、私も応援できることは何か、考えて
参りたいと思います。



ごみ減量・資源再利用懇談会 2020.11.16

仙北地区のごみ減量の懇談会が開催さ
れました。

例年より家庭ごみが増えて、事業所
のごみが少なくなっているとのこと
です。全体としては、ごみの量は減量
です。コロナの影響が、端的に出
ているようです。

活動報告は東仙北の近江会長さんが発表されました。

ごみ出し時間を多様な生活様式に合わせて、柔軟に対応した事例は、
印象的でした。まだまだ仙北地区はごみの減量が必要とのことでした。



中野孝之助事務所 盛岡市仙北2丁目11-33 (自宅)

電話 019-636-3181 Fax 019-636-0541 携帯 090-7063-6724 HP <http://nakano-kounosuke.com/>

皆様のお声をお聞かせ下さい

この広報は政務活動費により作成しています。

